

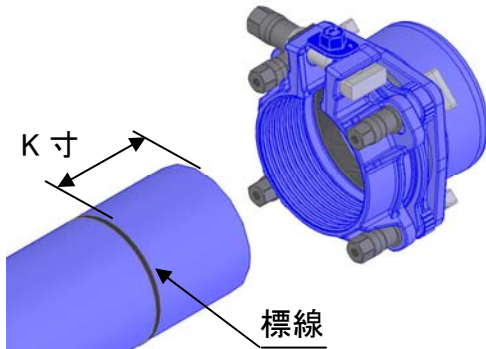
# スッポンMPジョイント150・200施工手順

## 水道配水用ポリエチレン管 (JW-P) 用

### ⚠注意

- ・ ストップリング内面は素手で触ると危険ですので十分注意をして下さい。
  - ・ 必ず施工手順を守り、施工して下さい。
- 施工手順を守らない場合、漏水等事故の危険性があります。

①



パイプに**標線**を入れる。  
(管切断のカエリは取り除く)

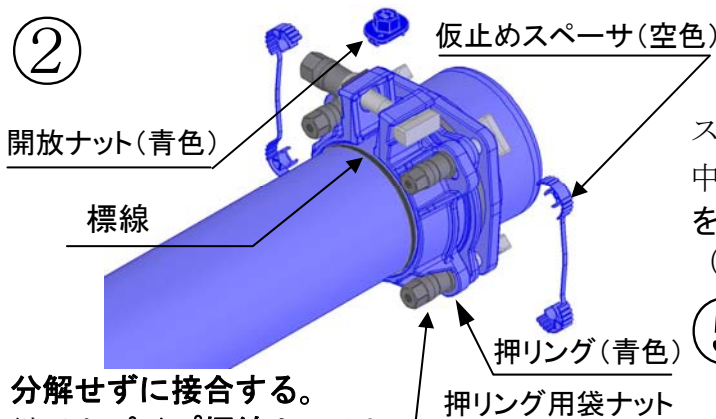
※「K寸の表」参照

継手 MP-P、MP-V、MP-D、MP-A  
MP-C(K形)、MP-CAP II  
異形管 上記以外

### □K寸とボルトサイズ

呼び径	K (mm)		ボルトサイズ (参考:締付トルクN・m)	
	継手	異形管	押リング	ストップ リング
150	160 <sup>+10</sup> <sub>-0</sub>	160 <sup>+25</sup> <sub>-0</sub>	M20 (80~130)	M24 (120~130)
200	200 <sup>+10</sup> <sub>-0</sub>	200 <sup>+25</sup> <sub>-0</sub>	M24 (90~130)	M24 (120~130)

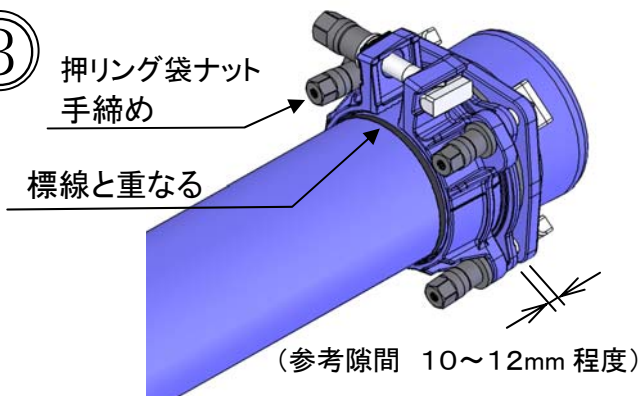
②



分解せずに接合する。  
継手をパイプ標線まで入れ、  
**仮止めスペーサと開放ナットを取り外す。**

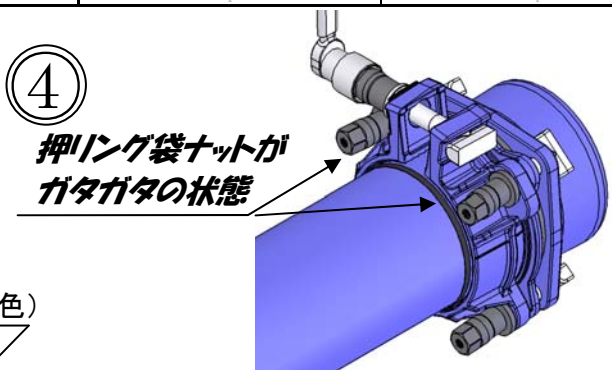
- ・ 仮止めスペーサがはずれにくい場合は、  
押リング袋ナットを少しゆるめる。

③



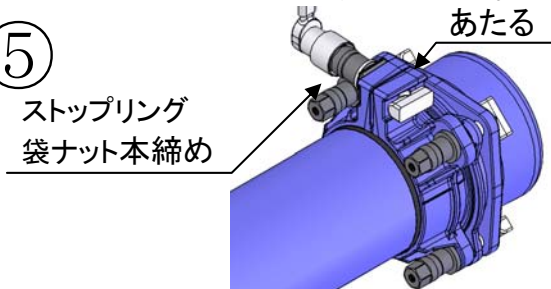
ストップリングを標線と合わせた状態で、  
**押リング袋ナットを軽く手締め** (パイプが  
仮固定する程度) する。  
(標線と重なる程度が良い。)

④



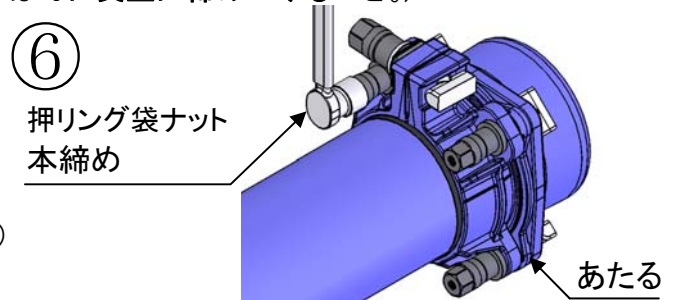
ストップリング袋ナットを締めつけている途中で、  
**押リング袋ナットがゆるんでいる**ことを確認する。  
(ゆるんでいない場合は、ゆるめる。)

⑤



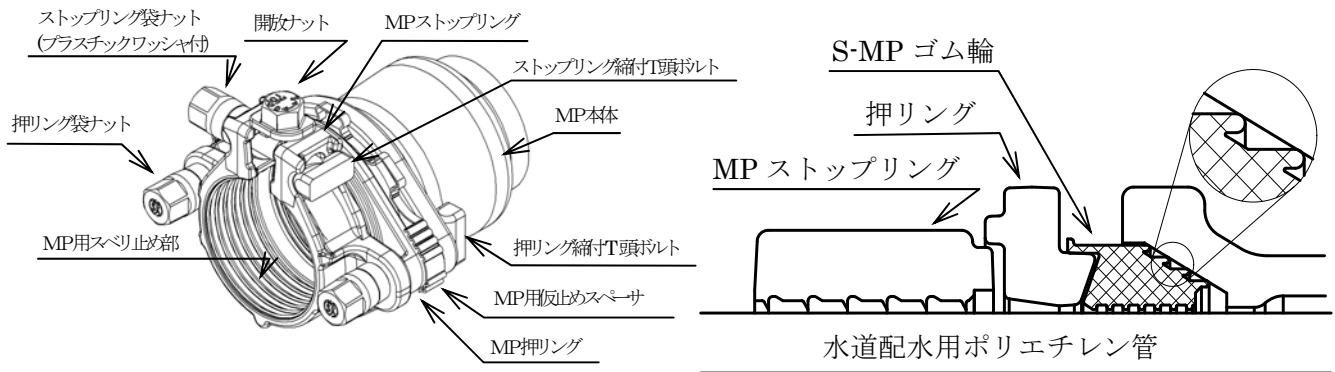
ストップリング先端が当たるまで  
ストップリング袋ナットを**本締め**する。  
(但し、呼び径200の場合は、2本あるのでひん  
ぱんに交互に締めつけること。)

⑥



押リング袋ナットを押リングが本体にあたる  
まで数回にわたり**均等に本締め**する。  
もしくは、100N・m程度以上締める。

# 1. スッポンMP ジョイントの各部名称



## 2. 施工注意事項

1) **押リングを先に強く締めすぎると、ストップリングが締めにくくなるので、その場合は押リング袋ナットをゆるめてストップリングを本締めして下さい。**

2) インパクトレンチにて施工される場合は、対角の押リング袋ナットを交互に均等になるように締め付けてください。

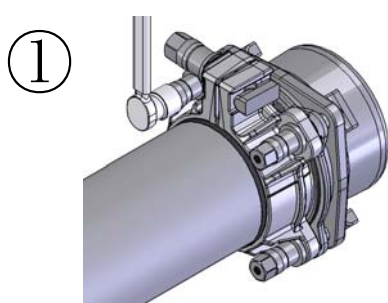
3) 伏せ越しなどの場合、ストップリングを分解しなくてもストップリング締付 T 頭ボルト・袋ナットの向きを変えるだけで対応できます。

注意) 呼び径 100 から 200 の場合、SR用ワッシャーの取付け向きに注意してください。(厚みが異なる)

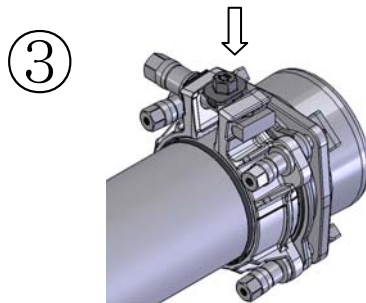
施工後 (パイプと継手の位置関係) (呼び径 50~200)	
○ 良い例	× 悪い例
水密性が良い	水密性が悪い

SR用ワッシャーの取付け向き (呼び径 100~200)	
○ 良い例	× 悪い例
締付ボルト正常に締まる	ナットが斜めになる

## 3. 開放ナット使用手順



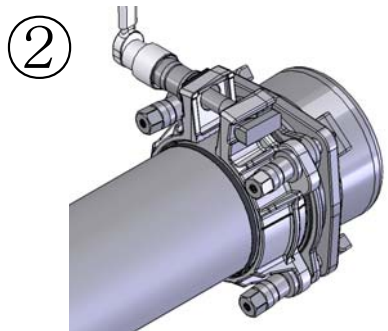
① 押リング袋ナットを緩める。



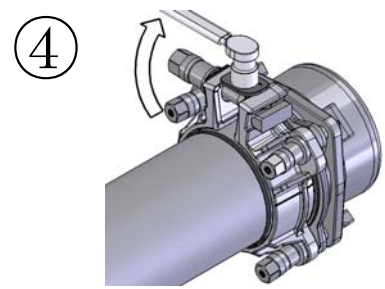
③ ストップリング先端の隙間に開放ナットを挿入する。

開放ナットサイズ

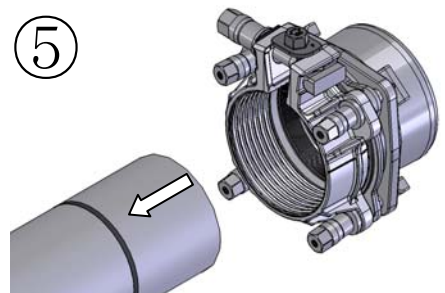
呼び径	六角部
50	24
75	
100	30
150	
200	36



② ストップリング袋ナットを分解しない程度まで緩める。



④ 開放ナットを「O」の方向 (右回り) に 90° 回す。



⑤ ストップリングが開放され、パイプが抜ける。(開放ナットが外れることがあるので注意してください。)